

## 投稿規定

1. 本会会員の論文を発表することが本誌の目的なので、論文の投稿は、原則として本会会員に限る。
2. 投稿論文は、臨床細胞学を中心とし、他誌に未発表のものに限る。
3. 論文は原則として、和文とする。
4. 投稿は下記宛にする。

〒010-0933 秋田県秋田市川元松丘町 4-30 市立秋田総合病院病理診断科内  
 日本臨床細胞学会秋田県支部事務局  
 TEL(018)823-4171 (内2650) FAX(018)896-7126

## 投稿要領

1. 本誌に掲載するものは、原著、総説、症例、短報など、臨床細胞学の進歩に寄与しうるものとする。
2. 原稿は、ワープロソフトを用い、A 4 サイズ縦長で、ダブルスペースにて横書きする。文字は12Pt 以上、平仮名、常用漢字、現代仮名遣いを用いる。ただし、固有名詞や一般に用いられている学術用語はこの限りではない。
3. 論文の長さは、以下の表に従う。

	本文字数制限	要旨	図表枚数
総説	12,000字以内	必要	10枚以内
原著	12,000字以内	必要	10枚以内
症例	6,000字以内	不要	5枚以内
短報	3,200字以内	不要	4枚以内

- 1) 本文字数には タイトル頁、要旨、文献は含まれない。
  - 2) 図表は 1 点あたり、400 字として換算する。  
 例：原著；本文 9,200 字 + 図表 7 枚 = 12,000 字
4. 原稿の様式
- (a) 原稿の構成は題名、所属、著者名、索引用語 (keywords)、緒言、方法あるいは材料 (症例)、結果 (成績)、考察、文献、図表、写真の順に記載する。ただし、原著、総説は、内容抄録を500字以内にまとめる。
  - (b) 著者名のあとに、以下の略号によりそれぞれの称号あるいは資格を付記すること。医師：M.D.、医師、国際細胞学会メンバー：M.D., M.I.A.C., 医師、国際細胞学会フェロー…：M.D., F.I.A.C., 臨床検査技師：M.T., 国内細胞検査士：C.T., J.S.C., 国際細胞検査士：C.T., I.A.C. 上記以外の方は称号あるいは資格を付記しなくともよい。
  - (c) 索引用語 (keywords) は、論文の内容を暗示する英語の単語を 5 語以内併記する。原則として、第 1 語は対象臓器、第 2 語は方法、第 3 語以下は内容を暗示する単語とする。

(d) 文献は主要なものに限り、10編以内にとどめ、著者名の引用順にならべる。文献表記はバンクーバースタイルに、誌名略記は日本医学図書館協会編：日本医学雑誌略名表および Index Medicus に準ずる。

(雑誌) 著者名 (3名まで；3名を超える場合はその後を“他”、“et.al.”と略記する)。表題名、雑誌名、発行年(西暦)；巻：頁～頁。

(単行本) 著者名、表題、発行地：発行所、発行年(西暦)。なお、引用が単行本の一部である場合には表題の次に編者名、単行本の表題を記し、発行年(西暦)の後に：頁～頁、を記載する。

(e) 度量衡単位はcm、mm、ml、l、g等CGS単位を用いること。医学用語は略語を用いてもよいが、はじめに完全な用語を書き、以下に略語を用いることを明らかにすること。

(f) 原稿の作成および投稿方法

1) 電子媒体による投稿とする；

2) 文章原稿；Word (Win, Mac) もしくは text 形式に限定。

図、表・・・Excel (Win, Mac)

写真・・・Photoshop で作成した写真 (12×9 cm、解像度400dpi) 顕微鏡写真は対物レンズの倍率を付する。

3) 提出内容・方法；

文章原稿や図、表、写真はCDやMO、USBメモリで送付

5. 掲載料は規定枚数に限り無料とする。別冊代は著者負担とし、校正時に明記する。

6. 原則として原稿の返却はしない。

7. 原稿、写真には個人を特定できるような情報が含まれてはならない。

8. 発行済み学会誌に掲載された論文等の取り扱い

(1) 論文等の著作権(著作権法27条、翻訳権、翻案権等、28条 二次的著作物利用に関する原作者の権利)は、当学会に帰属する。

(2) 当学会は、当該論文の全部または一部を、当学会ホームページ、当学会が認めたネットワーク媒体、その他の媒体において任意の言語で掲載、出版(電子出版を含む)出来るものとする。この場合、必要により当該論文の抄録等を作成して付すことがある。

9. 投稿規定は改正することができる。

(平成7年9月28日、一部改正)

(平成21年6月6日、一部改正)

(平成25年6月17日、一部改正)